

# J A C S

## NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニュースレター

第18巻第2号

発行日 2010年8月20日

発行 日本消費者行動研究学会事務局

### 第41回 消費者行動研究コンファレンスのお知らせ

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。現在、コーディネーターの南知恵子先生（神戸大学）を中心としてプログラムを検討中です。詳細については次号で再度お知らせいたします。いましばらくお待ちください。

開催日程：11月6日（土）・7日（日）

開催場所：関西学院大学（兵庫県西宮市・西宮上ヶ原キャンパス）

### 第40回 消費者行動研究コンファレンス 開催報告

#### <統一論題> コラボレーションが創る消費者行動研究の未来

去る2010年5月8日、9日の両日、東京都世田谷区の駒澤大学深沢キャンパスにおいて、第40回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。

1日目の統一論題では、午前中に徳山美津恵氏（関西大学）、清水聰氏（慶應義塾大学）、山本晶氏（成蹊大学）の3名から研究報告が行なわれました。午後は、片平秀貴氏（丸の内ブランドフォーラム）の「接着剤とヤモリ：新発想が生まれる仕組みづくり」というタイトルのもとでの基調講演と、和田充夫氏（関西学院大学）、上田隆穂氏（学習院大学）、井上哲浩氏（慶應義塾大学）、川上智子氏（関西大学）の4名をパネリストに迎えてのシンポジウムにおいて、さらに発展した刺激的な議論が展開されました。消費者行動の研究においては、産官学・国内外を横断してあらゆる形態でのコラボレーションが実際に繰り広げられているところですが、その効果はもちろんのこと、より一層実りあるものへとステップアップさせていくためにどうすればよいのか。さまざまなことを考えていくきっかけとなるような内容でした。

2日目の午前・午後に設定された自由論題研究報告においても、3会場並行で計29もの研究報告が設定され、数多くの参加者のもと活発な議論がなされていました。

**- JACS-SPSS 論文プロポーザル賞 -**

「ブランド拡張における『適度な不一致』がブランド価値構造に及ぼす影響」  
西本章宏（慶應義塾大学大学院経営管理研究科）

この度は、JACS-SPSS プロポーザル賞をいただき、大変光栄に思っております。厳選な審査に携わってくださった先生方、そして、JACS-SPSS プロポーザル賞ならびにカンファレンス開催にご尽力くださいました方々に改めて御礼申し上げます。

今回、私が発表させていただきましたテーマは、「ブランド拡張における『適度な不一致』がブランド価値構造に及ぼす影響」というものでした。ブランド拡張とは、ブランド価値（ブランド・エクイティ）を活用する新製品戦略の1つのアプローチです。そして、私の研究は、ブランド拡張に関する研究領域に、消費者情報処理におけるスキーマ一致/不一致理論の適用可能性を探ったものです。さらに、「属性 機能的便益 情緒的便益 価値」というブランド価値構造に対するブランド拡張のインパクトを明らかにすることで、ブランド拡張を成功させる具体的なドライバー（ブランド拡張要因）を特定化することを試みました。そして、研究プロポーザルの焦点は、親ブランドに対して「適度に不一致」なブランド拡張こそが、拡張された新製品に対する消費者態度に最も好ましい影響を与えること（ブランド拡張の成功要因）を明らかにする理論的枠組みと、統計的、工学的なアプローチを提示することでした。

ブランド拡張研究は、ブランド論とカテゴリー化理論に興味をもつ私にとっては、格好の研究領域です。なぜならば、ブランド拡張とは、親ブランドがもつブランド価値（ブランド・エクイティ）が製品クラス（カテゴリー）を超えて転移していくプロセスであり、研究の焦点が、まさにカテゴリーとしてのブランド価値（連想）が、どれだけ新製品に転移するのかを捉えることにあるからです。

このように私は、以前からブランド拡張研究に興味を抱きつつも、それをいつ自分の研究として始めようか、他の研究テーマ

に追われていることを理由に、私の中で研究を始めるきっかけをつくれずに大学院生活が毎日過ぎていました。そんな中で見つけたのが、この JACS-SPSS プロポーザル賞でした。ブランド拡張に関する研究について全く研究蓄積がなく、そのため研究に対する視点やアプローチが定まっていなかった私にとって、審査をしていただく先生方、そして学会員の皆さまの前で、これから研究していきたい自分の研究視点やアプローチをプロポーザル（提案）させていただく機会をいただけるということは、新しい研究領域に挑戦する私にとって大変有意義な機会でした。そして、先生方、学会員の皆さまからの貴重なコメントとご指摘を頂戴できたことで、その後の学会報告や論文執筆につなげることができ、現在もさらなる研究の発展を目指し、日々研究に邁進しております。新しい研究領域に踏み出すきっかけをつくってくださった JACS-SPSS プロポーザル賞に敬意を表しつつ、今後とも、研究を発展させ、学会報告などで皆様に研究成果を発信していきたいと思っております。

編集担当より

前号に引き続き、第9回 JACS-SPSS 論文プロポーザル賞の受賞者を紹介いたします。今回登場をお願いしたのは、優秀賞を受賞されました西本先生です。

## 2009 年度決算報告および 2010 年度予算案

2010 年 5 月 8 日に開催されました役員会での審議を経て、同日開催された会員総会において、2009 年度の決算報告および 2010 年度の予算案が下記のとおり承認・決定されました。ここに報告いたします。

2009 年度決算報告	
<b>〔収入の部〕</b>	
1. 会費収入(2009 年度分)	5,546,000 円
学会会員	2,950,000 円
学会学生会員	180,000 円
個人賛助会員	155,000 円
法人賛助会員	1,400,000 円
滞納、超過入金等	861,000 円
2. 論文集販売	200,710 円
3. 前年度繰越金	19,701,768 円
4. 協賛金	450,000 円
合計	25,899,478 円

2010 年度予算案	
<b>〔収入の部〕</b>	
1. 会費収入(2010 年度分)*	6,285,000 円
学会会員	4,030,000 円
学会学生会員	445,000 円
個人賛助会員	260,000 円
法人賛助会員	1,550,000 円
滞納、超過入金等	0 円
2. 論文集販売	0 円
3. 前年度繰越金	23,312,497 円
4. 協賛金	500,000 円
合計	30,097,497 円

\* 2010 年 3 月 31 日現在の会員数より算出

<b>〔支出の部〕</b>	
1. 印刷費	283,350 円
ニューズレター	51,300 円
会員名簿	232,050 円
2. 事務費	1,392,631 円
論文集印刷・発送一式費	783,210 円
通信費	192,377 円
Web ホスティングサービス利用費	44,940 円
ホームページ英訳・リニューアル費	0 円
その他	372,104 円
3. 事業運営費	910,000 円
コンファレンス開催校補助費	200,000 円
学会誌作成費(査読謝礼費)	0 円
国際交流事業費	0 円
ワークショップ開催費(開催補助費)	260,000 円
プロポーザル賞賞金	450,000 円
広報活動費	0 円
4. 予備費(出版システム開発費)	0 円
5. 次年度繰越金(論文集作成費他)	23,312,497 円
合計	25,898,478 円

<b>〔支出の部〕</b>	
1. 印刷費	350,000 円
ニューズレター	100,000 円
会員名簿	250,000 円
2. 事務費	4,050,000 円
論文集印刷・発送一式費	3,000,000 円
通信費	400,000 円
Web ホスティングサービス利用費	100,000 円
ホームページ英訳・リニューアル費	150,000 円
その他	400,000 円
3. 事業運営費	2,850,000 円
コンファレンス開催費(開催校補助費)	200,000 円
学会誌作成費(査読謝礼費)	450,000 円
国際交流事業費	1,000,000 円
ワークショップ開催費(開催補助費)	400,000 円
広報活動費	500,000 円
その他	300,000 円
4. 予備費(出版システム開発費)	2,000,000 円
5. 次年度繰越金(論文集作成費他)	20,847,497 円
合計	30,097,497 円

上記の通り報告いたします。  
上記の報告を適正なものと認めます。

事務局担当理事 新倉 貴士 印  
監 事 桑原 武夫 印

**学会費の「銀行振込み」についてのお願い**

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から(または組織名のみ)の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

**ご所属・ご住所の変更についてのお願い**

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。就職や異動などの慌しさが一段落したらで結構ですので、お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記いただく方がおりますが、手続上、データベースの修正は年度末となってしまいます。変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。なおホームページからもお手続きいただけますので、ご活用ください。

**新入会員の募集について**

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

**入会資格****[学会会員]**

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者(在籍経験者を含む)およびそれに準ずる者(文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等)。但し、学会会員 2 名の推薦が必要。

**[賛助会員]**

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

**年会費**

[学会会員] 10,000 円

(但し、大学院生は 5,000 円に減免)

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

**日本消費者行動研究学会 (JACS) 事務局のご案内**

(事務局) 法政大学 経営学部 新倉研究室  
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1  
Email: niikura@hosei.ac.jp

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱  
〒150 - 0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー10F (SPSS 内)  
TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528 Email: jacs@jacs.gr.jp

< JACS Website >

<http://www.jacs.gr.jp/>